



2024年5月14日

各 位

上場会社名	株式会社 加藤製作所	
代表者	代表取締役社長 加藤 公康	
(コード番号)	6390	
問合せ先責任者	執行役員財務統括部長 柳原 秀匡	
(TEL)	03-3458-1130	

## 特別利益、特別損失及び繰延税金資産の計上、並びに 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結会計期間において、特別利益、特別損失及び繰延税金資産の計上を行うと共に、2024年2月13日に公表しました2024年3月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の計上(個別)

2023年2月13日公表の「連結子会社における固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて、当社の連結子会社である KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. の固定資産売却益の発生については、お知らせしておりますが、同社の解散の過程に於きまして、有償減資を実施した結果、一部清算益が発生した為、子会社清算益869百万円を特別利益に計上いたしました。なお、当該利益は、連結財務諸表においては消去されることから、連結業績への影響はございません。

#### 2. 特別損失の計上(連結)

2024年3月8日公表の「連結子会社 加藤(中国) 工程机械有限公司における生産の一時停止について」にて、連結業績に与える影響額を精査中としておりましたが、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が保有する固定資産(建物及び工場生産設備等)の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として764百万円計上いたしました。また、従業員の一部退職に伴う費用として、事業構造改善費用121百万円を計上いたしました。

#### 3. 繰延税金資産の計上

当社は、最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第4四半期会計期間の個別決算において、繰延税金資産計上いたしました。これにより、連結決算において、法人税等調整額(△は利益)は△1,386百万円となりました。

#### 4. 業績予想との差異について

2024年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 56,000	百万円 1,200	百万円 1,700	百万円 2,200	円 銭 187.76
実績値(B)	57,498	1,654	2,575	4,235	361.49
増減額(B-A)	1,498	454	875	2,035	—
増減率(%)	2.7	37.8	51.5	92.5	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	57,530	1,258	1,865	2,403	205.09

#### 5. 差異の理由

2024年3月期累計期間（2023年4月1日～2024年3月31日）において、売上高は国内製品販売や部品販売が微増となり、為替レートも想定より円安であったことにより、前回予想を上回る結果となりました。

当社では、中期経営計画にて掲げた「収益性の改善・強化」を目的とする各施策を推進し、業績の改善に努めております。その結果、売上高の増加、原価の低減及び一層の経費削減により営業利益は前回予想を上回ることとなりました。また、為替差益の影響もあり、経常利益は前回予想を大きく上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、中国子会社にて固定資産の減損損失 764 百万円、事業構造改善費用 121 百万円を計上したものの、当社において繰延税金資産を計上し、法人税等調整額(△は利益)が△1,386 百万円となった為、前回予想を上回る結果となりました。

以上